

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県森林公園金川の森	所管課	林政部 県有林課
所在地	笛吹市一宮町国分1162-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成8年5月30日
管理方式	cowshi金川の森パートナーズ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県都市公園条例		
設置目的	金川沿岸の水害防備の歴史を有する貴重な平地林を将来にわたり保存し、保安林機能の増進を図るとともに県民の保健休養の場として活用するため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○公園面積 36.2ha ○施設の内容 ・どんぐりの森 10.9ha (管理事務所、サイクルステーション、トイレ、遊具施設、経塚古墳、ターゲットハートゴルフ場、森のせせらぎ、峯望池等) ・スポーツの森 11.3ha (サイクルステーション、乗り物広場、トイレ、ターゲットハートゴルフ場、マウンテンバイクコース、遊具施設等) ・さくらの森 2.7ha (さくら堤、花見台、トイレ等) ・ふれあいの森 3.7ha (芝生広場、トイレ等) ・かぶとむしの森 5.3ha (ハートデッキ、遊具施設、野鳥のせせらぎ、ゲートボール場、いきもの観察施設、トイレ等) ・こもれびの森 2.3ha (トックラン、水飲み等) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 (2)有料公園施設の利用の承認に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)交通安全に関する講習会の実施に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県立武田の杜保健休養林(健康の森、鳥獣センター等)
------------------------------	-----------------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	公園利用者	265,850	266,812	249,762	340,000
	利用者数合計	265,850	266,812	249,762	340,000
	目標値	350,000	300,000	310,000	340,000
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度目標値 +1万人	過去実績を参考に設定		
	対平成30年度比		100.4%	93.9%	127.9%
利用率		728人/日	782人/日	730人/日	994人/日

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	4,889,900	5,700,000	4,416,640	5,000,000
	指定管理者委託料	73,469,000	71,381,000	71,207,096	69,607,000
	その他	2,570,411	2,360,000	2,263,380	2,100,000
	収入合計(A)	80,929,311	79,441,000	77,887,116	76,707,000
支出	人件費	31,518,724	38,000,000	35,786,589	37,000,000
	県への納付金				
	管理運営費	47,794,477	41,570,000	37,231,527	39,964,000
	うち外部委託費(B)	14,858,387	13,870,000	12,752,388	13,940,000
	支出合計(C)	79,313,201	79,570,000	73,018,116	76,964,000
収支差額(A-C)		1,616,110	△ 77,210,000	△ 70,754,736	△ 74,864,000
外部委託比率(B÷C)		18.7%	17.4%	17.5%	18.1%
利用者一人当たりの経費		275.4	230.3	285.1	204.7

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年4月～令和3年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答数:190人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
樹木や芝生の状況	66.2%	30.1%	3.8%	0.0%
トイレや休憩所、ベンチ、園路等の状況	67.2%	31.2%	1.6%	0.0%
園内外の案内、情報サービス	56.8%	37.4%	5.8%	0.0%
安全、安心感、落ち着き感	80.5%	17.9%	1.6%	0.0%
催しもの、イベントの充実	50.3%	33.1%	16.6%	0.0%
スタッフの対応	88.7%	9.7%	1.6%	0.0%
施設全般の満足度	75.9%	24.1%	0.0%	0.0%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内で飲食を提供して欲しい。 ・サイクリングコースの草刈りをして欲しい。 ・遊具の種類を増やして欲しい。 ・園路の段差を補修して欲しい ・水遊び場を広くしてほしい。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを充実させて欲しい。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内での飲食の提供については、今後キッチンカーを充実させていく。 ・サイクリングコースは笛吹市の管理であるため、管理課に草刈りをしてもらうよう要望した。 ・遊具の種類については、遊具の老朽化に併せて、種類が増えるような更新を県に要望した。 ・園路の段差については、さくらの森の園路であり、舗装工事の修繕を県に要望、R3年度早期に対応予定。 ・県に今後水遊び施設の拡充を要望。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大で、制限がある状況であったが、対策をとり新規を含めた様々なイベントを開催した。中でも「金川フォレストフェリーチェ」は参加者に好評で、人気のイベントとなった。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務計画書に沿った維持管理業務を実施し、公園の安全管理と環境整備に努めた。</p> <p>特に、園地管理については、スタッフを増員し、危険木の伐採や片付け、除草等を重点的に行った。</p>	<p>金川公園は園地内の木が大きく、倒木時の危険性が高いため、園地管理を重点的に行っており、利用者が安全に利用できる環境を維持している。台風等の気象災害の危険が増す中、早期に危険な状況の把握と対処を図ることが必要。</p>
運営業務	<p>森を活用した健康づくりの推進のため、「健康エクササイズ」を地元企業11社の協力と社会福祉法人笛吹社会福祉協議会の後援を得て開始した。今後山梨学院大学スポーツ科学部と連携してプログラムの開発研究を行い、より充実した健康づくりの場を提供していく。</p>	<p>ウォーキングなど、健康づくりの場としての利用者が多い公園であり、指定管理者として、利用者のニーズにこたえる健康プログラムの開発に取り組んでいる。コロナ感染下において、健康を増進させる屋外プログラムとして、より内容を充実させるとともに、利用者の増加のため、広報に努めること。</p>
利用状況	<p>コロナ感染拡大による緊急事態宣言に伴い、県からの協力要請でR2.2.28より施設を閉館。ガイドラインの策定により個別解除施設となることで5月23日より開館。主催の「新緑祭り」は中止。5月までの利用者数は減少したものの、6月以降は利用者数が回復。イベントについても規模内容を検討した上で実施した。</p>	<p>コロナ感染拡大防止の協力要請に応じるとともに、ガイドラインを策定・遵守し感染拡大防止対策に努めた。感染拡大防止対策を十分にとるなかで各種イベントを開催し、コロナ下での新たな需要に対応する健康づくりの場を提供するプログラムを立ち上げるなど、利用者へのサービス向上に努めることで、6月以降はほぼ前年度並みの利用者数を確保したことは評価される。引き続き利用者サービスの向上に努めること。</p>

収支状況	<p>利用料収入については、本年度は新型コロナウイルスの影響で4,5月の自転車利用料の収入がなかったものの、6月以降は回復・増加に転じ、年間では昨年度比90%の利用料収入を達成。 需要が少ない1人乗りの電動自転車の利用料金を下げ、利用者数を増やすことで、利益の増加を図った。</p>	<p>自転車については、感染防止対策を十分にとりつつ、個別解除とともに速やかに利用を再開。利用者の需要に応じて、一人乗り電動自転車の利用料金を下げ回転率を上げる試みで、利用収入の確保に努めた。引き続き、利用率や収益を上げる取り組みを行うこと。</p>
自主事業	<p>金川の森の賑わいをつくることを目標に、ケータリングカーや催しによる「金川フォレストフェリーチェ」を開催。4回開催で延べ2430名の参加があり、出店者、来園者ともに増加傾向。コロナ感染拡大状況下で、飲食の提供を伴うため、出店に際しては、守るべき基準を指定管理者として定め、出店者に周知した。</p>	<p>自然環境が豊かな森林公園内で飲食を提供するイベントは、ファミリー層を中心に、来園者に満足度の高いサービスを提供していることから、引き続き、感染拡大防止対策を十分に取ながら開催するとともに、感染拡大の状況に迅速に対応し、中止も含めた規模内容の見直しを適宜行う必要がある。</p>
利用者満足度	<p>施設全般の満足度で、「満足」「どちらかと言えば満足」との評価が100%となった。ただし、アンケートの回答数が例年より少なくなってしまうため、アンケートの実施方法の検討や利用者への積極的な声かけを行い、満足度の維持・向上に努めていく。</p>	<p>アンケートの回答数が少なくなったことについて、より多くの利用者の声を反映できるよう、原因を把握し対策を講じること。 今後も、接遇研修などを定期的に行い、利用者サービスの向上に努めること。</p>
運営目標の達成状況	<p>令和2年度 利用者数 目標値 310,000人 → 実績値 249,762人 目標値に対し80.6%の利用状況であった。利用者減少の要因は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う県からの感染防止の協力要請により、5月7日までは、施設休館、駐車場閉鎖、遊具の使用禁止が行われるとともに、感染防止ガイドラインの作成による協業要請の個別解除と、施設の使用開始準備に日数を要し、全施設が使用できるようになったのが6月からであったことが影響したと考えられる。 また、利用者満足度は目標である97.8%以上に対し、100%の高い満足度となった。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>5月までは、新型コロナウイルス感染拡大防止の協力要請で、施設休館、駐車場閉鎖、遊具の使用禁止が行われたことや、各種イベントの中止により、利用者数は目標値を下回る結果となったものの、6月以降は、感染防止ガイドラインを遵守しながら管理運営を行う中で、自然体験プログラムの実施や、地元と連携した「金川フォレストフェリーチェ」等のイベントも開催し、ほぼ前年度並みの利用者数を確保することが出来た。また、老朽化している施設の修繕や、園内の危険木の管理などを重点的に行い、利用者満足度も高く、指定管理業務は適正に行われていると評価できる。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止協力要請を行うとともに、協力要請の個別解除ガイドラインの作成と遵守について指導した。感染拡大状況に応じてイベントの開催・規模等を検討すること、及び自粛要請の終了とともに、グリーン・ゾーン認証施設に速やかに移行するよう指導した。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>新型コロナウイルス感染防止協力要請に応じ、施設の休館、遊具の使用禁止、注意喚起看板の設置を行い、感染防止ガイドラインの作成と遵守、換気・消毒、マスク着用・手指消毒・間隔の確保の注意喚起等、迅速に対応を行った。 イベントについては、出店者に感染防止対策の徹底を要請し、十分に対策をとるなかで開催し、利用者の満足度も高く、来園者の増加つなげた。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

